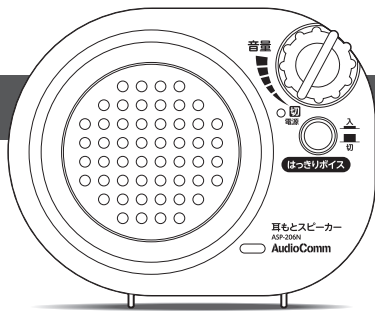


# 取扱説明書

## 耳もとスピーカー

型番：ASP-206N  
品番：03-2067



このたびは、AudioComm® 耳もとスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

### 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

### 主な仕様

|         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 電源      | DC6V 単3形乾電池×4本(別売)          |
| 実用最大出力  | 3W×1                        |
| スピーカー   | 口径66mm×1                    |
| 接続端子    | φ3.5mmステレオミニプラグ(コード長：約5m)   |
| 乾電池持続時間 | 約70時間                       |
| 外形寸法    | 幅138×高さ108×奥行74.5mm(突起物含まず) |
| 質量      | 約306g(乾電池含まず)               |
| 付属品     | 変換アダプター、保証書、取扱説明書           |

※ 外観、仕様は予告なく変更することがあります。  
 ※ 乾電池持続時間は、アルカリ乾電池新品使用時(音量中程度)の目安です。入力音量の大小など、使用環境により異なります。  
 ※ 本書のイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

### 保証書とアフターサービスについて

#### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

#### アフターサービスについて

- 調子が悪いときは  
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は  
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

### お手入れのしかた ※必ず電源を切ってから行ってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を濡らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料が剥げることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

### 安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながる可能性があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

**警告** 以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機から乾電池を取り外す
  - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
  - ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する
  - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
  - ・販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 本機を分解、修理、改造しない
  - ・火災・感電の原因となります。
- 屋外で使用中に雷が鳴り始めたら、すぐに使用を中止する
  - ・落雷や感電の原因となります。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様や乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
  - ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

**注意** 以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

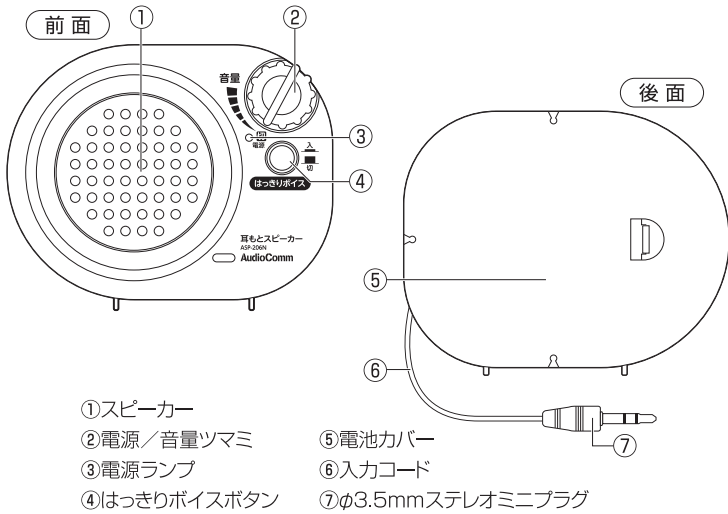
- 乾電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる
  - ・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例：アルカリとマンガン)を一緒に使わない
  - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない
  - ・落下による故障やけがの原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
  - ・故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かない
  - ・火災・感電の原因となることがあります。
- 長時間、大音量で聴き続けない
  - ・周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
  - ・故障や破損の原因になることがあります。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない
  - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。
- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す
  - ・火災・液もれの原因となることがあります。

### 乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

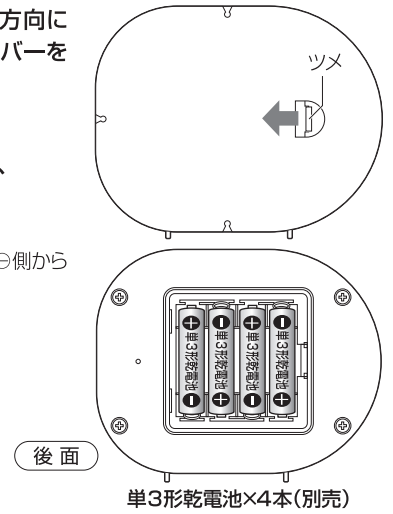
- |   |  |
|---|--|
| <p><b>警告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火中への投入、加熱、分解をしない</li> <li>・取り外した乾電池を幼児に触らせない</li> <li>・ショートさせない</li> <li>・直射日光や火などの過度の熱にさらさない</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。</li> </ul>   |
| <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・⊕⊖の表示どおりに入れる</li> <li>・指定以外の乾電池を入れない</li> <li>・使用推奨期限内の乾電池を使用する</li> <li>・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない</li> <li>・使い切った乾電池はすぐに取り出す</li> <li>・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。</li> <li>● 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。</li> </ul> |

## 各部の名称



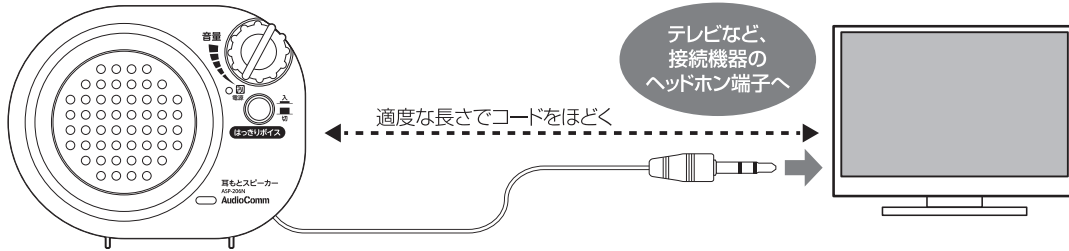
## 乾電池の入れかた

- 1 電池カバーのツメを矢印の方向に引きながら持ち上げ、電池カバーを取り外します。
- 2 単3形乾電池×4本(別売)を、⊕と⊖の向きに注意しながら正しく入れます。  
コイルバネのあるほうが⊖です。⊖側から先に入れてください。
- 3 電池カバーを元どおりにしっかりと閉めます。  
入力コードを挟み込まないようにご注意ください。



## 使いかた

- 1 本機の電源が切れていることを確かめます。  
入力コードをほどいて伸ばし、φ3.5mmステレオミニプラグを、接続機器のヘッドホン端子に差し込みます。  
●テレビとの距離に応じて、ほどく長さを調節してください。必要以上にほどくと、足に引っかかったりして、けがや故障・破損の原因になりますのでご注意ください。



### ご注意

モノラル出力端子に接続する場合は、モノラル変換プラグ(別売：市販品)を使用してください。そのまま接続すると、音が出ないだけでなく、テレビに悪い影響を与えるおそれがあります。

- 2 テレビの電源を入れ、ご覧になりたいチャンネルに合わせます。  
●テレビ側の音量は大きすぎない程度に調節してください。

- 3 電源／音量ツマミを時計まわりに回して、本機の電源を入れ、さらに回して音量を調節します。

- カチッと音がして電源が入ると、電源ランプが点灯します。
- 音量調節は本機、テレビの双方で可能ですが、テレビ側の設定を大きくしすぎないでください。本機との接続を解除したとき、テレビの音声が大きくなりすぎるおそれがあります。

- 4 終了するときは、電源／音量ツマミを反時計まわりに最後まで回して、電源を切ります。

- カチッと音がして電源が切れます。電源ランプも消灯します。
- テレビとの接続を解除するときは、必ず本機及びテレビの電源を切ってから行ってください。



### ヒント はっきりボイスについて

はっきりボイスとは、人の声の周波数帯域を強調し、聞き取りやすくする機能です。映画やドラマの会話、ナレーション、ニュースアナウンサーの声などが聞き取りにくいときは、はっきりボイスボタンを「入」にしてお楽しみください。もう一度押し込んでから指を離し、「切」にする と解除されます。

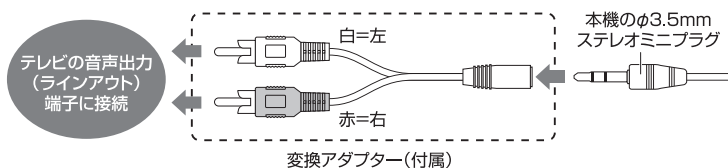


### ヒントとご注意

- テレビの電源を切っても、本機の電源は自動的に切れませんのでご注意ください。
- 使わないときは入力コードを巻き取って保管してください。また、長期間使わないときは、液漏れを防ぐため乾電池も取り外してください。
- 乾電池の残量が少なくなると、音が小さくなったり、雑音が多くなったりします。そのような状態になったら、早めに新しい乾電池と交換してください。

## テレビからも同時に音を出すには

付属の変換アダプターを使うことで、本機とテレビ本体両方から音声を出力することができます。



- 変換アダプターのRCAプラグを、テレビの音声出力(ラインアウト)端子に接続します。
- 本機のφ3.5mmステレオミニプラグを、変換アダプターのφ3.5mmステレオミニジャックに接続します。
- テレビ及び本機の電源を入れ、それぞれの音量を適切に調節します。

## 故障かなと思ったら

### 電源が入らない

- 乾電池は正しく入っていますか。⊕⊖の向きは正しいですか。
- 乾電池が消耗していませんか。

### 音が出ない 音が小さい

- テレビの音量が最小または消音になっていませんか。
- 正しく選局されていますか。
- 乾電池が消耗していませんか。
- φ3.5mmステレオミニプラグがテレビや接続機器のヘッドホン端子にしっかり差し込まれていますか。
- モノラル出力端子に接続していませんか。モノラル出力端子に接続するときは、別売のモノラル変換プラグを介してお使いください。

### 雑音が多い 音が悪い

- 乾電池が消耗していませんか。
- 近くで携帯電話を使用していませんか(本機を携帯電話から離してお使いください)。